【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成29年1月26日(2017.1.26)

【公表番号】特表2016-509246(P2016-509246A)
【公表日】平成28年3月24日(2016.3.24)
【年通号数】公開・登録公報2016-018
【出願番号】特願2015-545926(P2015-545926)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｆ　9/00　(2006.01)
Ｃ３０Ｂ　29/20　(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　5/03　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/041　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｆ　9/00　３０２
Ｃ３０Ｂ　29/20
Ｈ０５Ｋ　5/03　Ａ
Ｇ０６Ｆ　3/041　４６０

【手続補正書】
【提出日】平成28年12月9日(2016.12.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
カバープレートが、サファイアの誘電率より大きい誘電率を有する改質サファイアの少なくとも１つの層を含有してなる、少なくとも１つの透明なディスプレー領域を有するカバープレートを含有してなる電子機器。
【請求項２】
改質サファイアが、少なくとも１つのドープ剤を含有するサファイア溶融物から固化される、請求項１に記載の電子機器。
【請求項３】
ドープ剤が、塩化物である、請求項２に記載の電子機器。
【請求項４】
ドープ剤が、硫化物又は硫酸塩である、請求項２に記載の電子機器。
【請求項５】
ドープ剤が、アルミン酸塩である、請求項２に記載の電子機器。
【請求項６】
ドープ剤が、鉄、チタン、クロム、マグネシウム、ガリウム、又はカルシウムを含有してなる、請求項２に記載の電子機器。
【請求項７】
ドープ剤が、炭素である、請求項２に記載の電子機器。
【請求項８】
改質サファイアが、硬Ｘ線又はガンマ線を照射されたサファイアである、請求項１～７の何れか一項に記載の電子機器。
【請求項９】
電子機器がさらに、ディスプレー表面を有する少なくとも１つのディスプレー要素を含

有してなり、カバープレートが該ディスプレー表面に貼り付けられる、請求項１～８の何れか一項に記載の電子機器。
【請求項１０】
電子機器がさらに、ディスプレー表面を有する少なくとも１つのディスプレー要素を含有してなり、カバープレートが該ディスプレー表面の上に着脱可能に配置された保護層である、請求項１～８の何れか一項に記載の電子機器。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】
すなわち、本発明は、以下の（１）から（２４）に関する。
（１）カバープレートが、サファイアの誘電率より大きい誘電率を有する改質サファイアの少なくとも１つの層を含有してなる、少なくとも１つの透明なディスプレー領域を有するカバープレートを含有してなる電子機器。
（２）改質サファイアの誘電率が、サファイアの誘電率より少なくとも約０．０５％大きい、前記（１）に記載の電子機器。
（３）改質サファイアの誘電率が、サファイアの誘電率より少なくとも約０．１％大きい、前記（１）に記載の電子機器。
（４）改質サファイアの誘電率が、サファイアの誘電率より少なくとも０．５％大きい、前記（１）に記載の電子機器。
（５）改質サファイアが、少なくとも１つのドープ剤を含有するサファイア溶融物から固化される、前記（１）に記載の電子機器。
（６）ドープ剤が、塩化物である、前記（５）に記載の電子機器。
（７）ドープ剤が、塩化カルシウム、塩化アルミニウム、又は塩化モリブデンである、前記（６）に記載の電子機器。
（８）ドープ剤が、硫化物又は硫酸塩である、前記（５）に記載の電子機器。
（９）ドープ剤が、硫化アルミニウム、硫酸アルミニウム、又は硫酸カルシウムである、前記（８）に記載の電子機器。
（１０）ドープ剤が、アルミン酸塩である、前記（５）に記載の電子機器。
（１１）ドープ剤が、アルミン酸ナトリウム又はアルミン酸リチウムである、前記（１０）に記載の電子機器。
（１２）ドープ剤が、鉄、チタン、クロム、マグネシウム、ガリウム、又はカルシウムを含有してなる、前記（５）に記載の電子機器。
（１３）改質サファイアが、鉄、チタン、クロム、マグネシウム、ガリウム、又はカルシウムを含有してなる、前記（１２）に記載の電子機器。
（１４）ドープ剤が、炭素である、前記（５）に記載の電子機器。
（１５）改質サファイアが、硬Ｘ線又はガンマ線を照射されたサファイアである、前記（１）に記載の電子機器。
（１６）カバープレートが、約０．３～３．０の厚さを有する、前記（１）に記載の電子機器。
（１７）カバープレートが、約０．４～２．５の厚さを有する、前記（１）に記載の電子機器。
（１８）カバープレートが、約０．５～１．０の厚さを有する、前記（１）に記載の電子機器。
（１９）電子機器がさらに、ディスプレー表面を有する少なくとも１つのディスプレー要素を含有してなり、カバープレートが該ディスプレー表面に貼り付けられる、前記（１）に記載の電子機器。
（２０）電子機器がさらに、ディスプレー表面を有する少なくとも１つのディスプレー要

素を含有してなり、カバープレートが該ディスプレー表面の上に着脱可能に配置された保護層である、前記（１）に記載の電子機器。
（２１）カバープレートがさらに、外部の反射防止層を含有してなる、前記（１）に記載の電子機器。
（２２）電子機器が、電子メディアプレーヤー、携帯電話、携帯情報端末、ポケットベル、タブレット、ラップトップコンピュータ、又は電子手帳である、前記（１）に記載の電子機器。
（２３）改質サファイアが結晶成長炉内で固化される、前記（５）に記載の電子機器。
（２４）結晶成長炉が熱交換方式の炉である、前記（２３）に記載の電子機器。
上記の概要の説明及び以下の詳細な説明はいずれも、単なる例示及び説明であり、特許請求の範囲に記載される本発明のさらなる説明の提供を意図していると、理解すべきである。